

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-4-2 妊娠・出産支援の充実
---------	-----------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	健康推進課長 山崎一幸	電話番号	0852-22-5248
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	不妊治療支援事業		
目的	(1) 対象	不妊に悩む夫婦	
	(2) 意図	子どもを産み育てることを望む夫婦の希望を叶えるために、不妊検査・治療を促進する。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・特定不妊治療費助成：特定不妊治療（体外受精・顕微授精）を受けた夫婦に対して、費用の一部を助成する。 ・男性不妊検査費助成：男性の早期からの不妊治療参加を促進するため、男性不妊の検査を受けた夫婦に費用の一部を助成する。 		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	助成件数	目標値		1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	
	式・定義	助成件数（H27は特定不妊のみ）	取組目標値						
			実績値	977.0	898.0				
			達成率	-	74.9	-	-	-	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	138,329	226,374
うち一般財源 (千円)	43,678	114,188

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・特定不妊治療費助成：平成25年度862件 平成26年度934件 平成27年度977件 平成28年度838件
→平成28年度制度改正（①年齢制限42歳まで ②40歳以上申請回数3回まで）の影響により、件数減
※平成27年度 43歳以上の申請件数91件、40～42歳の申請回数4回目以上の件数112件
- ・男性不妊検査費助成：60件

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・特定不妊治療助成事業において、平成28年1月から開始されたことにより、男性不妊への支援が可能となった。
- ・新規事業の男性不妊検査費助成制度により、男性側も治療に早い段階で取り組むきっかけとなった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・晩婚化による不妊に悩む夫婦の増加
- ・男性の不妊治療への参加が遅い

②困っている状況が発生している「原因」

- ・妊孕性や男性不妊への理解が不十分

③原因を解消するための「課題」

- ・妊孕性や男性不妊に係る意識啓発等が必要である。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・引き続き各種助成制度の周知を図っていくとともに、妊孕性・男性不妊について意識啓発を図る。
- ・治療に係る医師や関係者からの意見を聞き取り、政策に反映させる。